

EX-2024-

外国語

(記述式)

英語

試験問題

注意事項

- 問題は外国語文和訳と和文外国語訳それぞれ **2 題** の合計 **4 題** です。全ての問題に解答してください。
- 解答時間は **2 時間** です。
- 答案用紙の記入について
 - 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるように訂正してください。
 - 答案用紙は **2 枚** (両面) です。外国語文和訳と和文外国語訳で各 1 枚使用してください。それぞれ表側に問 1、裏側に問 2 を解答してください。
 - 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。問題番号欄には、答案用紙の 2 枚とも、**選択した外国語名** を記入してください。
 - 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
- この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
- 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
- 下欄に受験番号等を記入してください。

試験の名称 外務省経験者採用試験 (書記官級)	第 1 次試験地 東京都	受験番号	氏 名
-------------------------------	-----------------	------	-----

指示があるまで中を開いてはいけません。

途中で退室する場合……………本試験種目終了後の問題集の持ち帰りを

希望しない

英文和訳 次の問 1 及び問 2 の英文を和文に訳しなさい。

問 1 In the decades immediately ahead, East Asia will experience perhaps the modern world's most dramatic demographic shift. All of the region's main states—China, Japan, South Korea, and Taiwan—are about to enter into an era of depopulation, in which they will age dramatically and lose millions of people. According to projections from the Population Division of the UN Department of Economic Social Affairs, China's and Japan's populations are set to fall by eight percent and 18 percent, respectively, between 2020 and 2050. South Korea's population is poised to shrink by 12 percent. And Taiwan's will go down by an estimated eight percent. The U.S. population, by contrast, is on track to increase by 12 percent.

People—human numbers and the potential they embody—are essential to state power. All else being equal, countries with more people have more workers, bigger economies, and a larger pool of potential soldiers. As a result, growing countries find it much easier to augment power and extend influence abroad. Shrinking ones, by contrast, struggle to maintain their sway.

East Asian countries will be no exception: the realm of the possible for its states will be radically constricted by the coming population drop. They will find it harder to generate economic growth, accumulate investments, and build wealth; to fund their social safety nets; and to mobilize their armed forces. They will face mounting pressure to cope with domestic or internal challenges. Accordingly, Japan, South Korea, and Taiwan will be prone to look inward. China, meanwhile, will face a growing—and likely unbridgeable—gap between its ambitions and capabilities.

問 2 Japanese artist Hokusai famously produced a series of woodblock prints titled Thirty-Six Views of Mount Fuji, and centuries later, the majestic mountain still captures the imagination. However, now that translates into record numbers of tourists eager to commemorate their visit with painstakingly staged photos.

An unencumbered view of Fuji is something to treasure – so much so that a real estate developer this week agreed to tear down a nearly completed

apartment block in western Tokyo because it blocked residents' view of the mountain. Developer Sekisui House said it decided to take down the 10-storey building due to "insufficient consideration for the impact on the scenery". (中略)

Its popularity is the inevitable result of the surge in tourism to Japan since the country lifted travel restrictions after the Covid-19 pandemic. Aided by a weak yen and Japan's reputation for safety, hospitality and delicious food, more than 3 million people visited in March and April, with the annual number expected to break the previous record of 31.9 million set in 2019. Skipping Mount Fuji on a visit to Japan would be like giving the pyramids a miss on a trip to Egypt. While the mountain is visible from bullet trains for long enough to take photos, many tourists are eager to get much closer for that perfect holiday memento.

和文英訳 次の問 1 及び問 2 の和文を英文に訳しなさい。

問 1 自然災害においては、例えば地震が発生した事後において、または台風やハリケーンが到来する事前から事後において、限定された時間、限定された空間においてのみ有事の対応が適用され、その間だけ一般市民の自由・人権が制限されて安全・安心が優先されることがあっても、この事態が終了すれば社会は平常に戻ることができる。つまり、自然災害においては非常時と平時の区別は明確である。また、戦争という事態においても、対外的インテリジェンスや外交政策は常に平時と戦時に関係なく遂行される必要はあるが、それ以外の国内の対応については、戦時と平時の区別は比較的明確にしやすい、また明確にされなければならない。しかしながら、テロ対策においてはこの平時と戦時、非常時の区別は容易ではないのである。

テロリズムが事件として顕在化し、事件が発生した場合には明らかに非常時であるが、それがいつ起きるかどこで起きるか突発的で全くわからないようでは、国民の生命と安全は守ることができない。つまり、テロ事件が発生した事後対策だけでは国民の命を守ることは難しいのである。そのため、テロリズムという有事による被害を未然に防ぎ、防止するためには平時においてテロリズムを監視するという論理が必要になる。(中略) さまざまな危機、リスクにおいて、テロリズムにおける自由・人権と、安全・安心のバランスの問題が一番困難で、かつ一番重要であるといえる。

問2 こんな昔話を考えてみてください。

あなたはオニギリを持って山の中を歩いていました。すると、ある子供が「パンをください」と話しかけてきました。あなたは「パンは持ってないよ。ゴメンね」と答えて、通り過ぎました。その子はお腹が空いているようでしたが、あいにくパンは持っていないので、どうしようもありませんでした。

歩き続けていると、また別の子供がやってきました。「どうしたんだい」と問いかけると、その子は「昨日から何も食べていなくて、お腹がペコペコなんです」と答えました。そこであなたは「オニギリをあげよう」と持っていたオニギリを差し出しました。その子は喜んでオニギリを食べました。

最初の子供はお腹が空いていたのに、「パンがほしい」と言ってしまったがために、何も貰うことができませんでした。二番目の子供は、「お腹が空いている」と言ったがために、オニギリを貰って、空腹を満たすことができました。

（中略）重要な教訓の一つとして、立場（position）と利害（interest）の区別が挙げられます。立場とは、それぞれの交渉当事者が望んでいる結論、利害とはその主張の背景にある理由です。先ほどの例で言えば、「パンがほしい」が立場で、「お腹が空いている」が利害です。（中略）

交渉学では、立場と利害を明確に区別した上で、利害のほうに着目することで、お互い満足のいく合意条件を見つけることを重視しています。

< 出典 >

英文和訳

・問1

Used with permission of Foreign Affairs, from East Asia's Coming Population Collapse, Nicholas Eberstadt, Foreign Affairs, 2024; permission conveyed through Copyright Clearance Center, Inc.

・問2

Copyright Guardian News & Media Ltd 2025

和文英訳

・問1

福田充、「新版 メディアとテロリズム」、新潮社

・問2

松浦正浩、「実践！交渉学」、ちくま新書